

第2学年 保健体育科 学習指導案

指導者 ●●●●

指導担当教員 ●●●●先生

1. 日時 ●●年●月●日 (●) 第●,●校時 (●:●●～●:●●)

2. 学年・組 第2学年●,●組 ●●講座 計38名

3. 場所 人工芝グラウンド

4. 単元名 E球技(ベースボール型:ソフトボール)

5. 単元について

①教材観

ベースボール型球技は、身体やバットの操作と走塁の攻撃、ボール操作と定位置での守備等によって攻守を規則的に交代し、一定の回数内で相手より多く得点を競い合うゲームである。ベースボール型球技の学習では、ベースボール型の種目に共通する動きを身につけることが大切である。

ソフトボールでは、ポジションによって守備位置等は決められているものの、出塁状況や打球の方向等の状況に応じて、その都度最適な行動を判断する必要があるという特性がある。また、それらの判断を行いつつ攻防する中で、仲間と協力し合い、勝敗を競うことを楽しむことができる教材でもある。

バットやグローブといった用具を用いる性質上、効果的に用具を使うにはコツが必要で、それぞれに合ったポイントを模索する中で自己やチームの課題を発見し、解決や克服に向けて創意工夫を働かせることができるという側面もある。

②生徒観

本講座の生徒は、明るい雰囲気を楽しみながら授業に参加することができる生徒たちである。指示内容は静かに聞き、活動にもスムーズに移る等、メリハリをつけて行動することもできている。一方で、グループ分けやペア活動をする際に、クラス内での交流に留まっている様子があり、体育授業の中で交流の輪を広げていくことが今後の課題と思われる。

計画性があり、先を見通して行動できる生徒が多いのも印象的である。話し合い活動では、実際に活動に取り入れた際のイメージまで膨らませながら考えることができおり、本単元での作戦会議の場面でもその能力を存分に発揮することが期待できる。

③指導観

安全面について、ソフトボールでは、バットやボール等、大きな怪我や事故に直結しかねない用具を用いるため、万が一のアクシデントが無いよう配慮して授業に取り組みたい。また、日差しが強く気温も高くなる時期に屋外で行う環境にも留意し、外傷だけでなく熱中症等のリスクにも備えて授業を展開していきたい。

指導面ではボール操作、バット操作等の各技術を段階的に向上させていくという意識を持ち、生徒への支援では現状でできていることについて認めつつ、次の段階に進むために必要な内容についてアドバイスしていく。

また、生徒観でも前述したように、グループ活動の場面等において、クラス内の関係性だけで完結している様子が見られたため、本単元でチームを構成する際には、クラスを越えてチームを編成し、生徒同士がより交流を図ることができるよう考慮していきたい。

6. 単元の目標

E 球技（ベースボール型：ソフトボール）について、以下の事項を身につけることができるように指導する。

〈知識及び技能〉

- ソフトボールについて、攻防の中で勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことができる。
- 捕球や送球、打撃等の基本的技能を安定して行うことができる。
- ソフトボールのルールや安全に活動するための事項を理解し、授業に参加することができる。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- 技能や試合の中での攻防等、自己やチームの課題を発見し、その解決に向けて取り組みを工夫することができる。
- 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- フェアプレイを大切にし、健康や安全に配慮して活動を行うことができる。
- 作戦等の話し合いに積極的に参加し、チームに貢献しようとするすることができる。
- 一人ひとりに応じたプレイを大切にし、他者と認め合うことができる。

7. 単元の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法等について理解している。 ・安定したボール操作とバット操作により、状況に応じて攻守を行っている。 ・スキルテストにおいて、捕球・送球、打撃を適切に実施できる。	・攻防における自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 ・自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ・各技術を行うコツや自己の課題について、ポートフォリオに記述している。	・活動に主体的に取り組んでいる。 ・フェアプレイを大切にし、作戦等の話し合いに貢献しようとしている。 ・健康や安全、他者に配慮して活動している。

8. 指導計画（全 12 時間）

	1・2	3・4	5・6	7・8	9・10	11・12
前半	・オリエンテーション ・捕球練習	・キャッチボール	・キャッチボール ・打撃練習 トスバッティング	・キャッチボール ・打撃練習	・チームアップ	・チームアップ
中盤	・送球練習	・打撃練習 ティーバッティング	・作戦会議 ※攻撃、守備	・作戦会議※ 前時の反省を生かす	・スキルテスト	
後半	・簡易ゲーム	・簡易ゲーム	・簡易ゲーム	・試合	・試合	・試合

9. 本時の学習

①本時の目標

正確かつスムーズに捕球、送球することができる。

②本時の展開

区分	学習活動と内容 (予想される生徒の反応)	指導上の留意点、支援、 準備物・資料等 (○留意点 □支援 ◆準備物・資料等)	評価基準 評価の観点・方法
導入 15 分	1. 集合、点呼 2. 準備運動、補強運動 3. ルール・知識の確認、復習 4. 本時の活動の流れ確認	○用具名やルールについて確認し、足りない部分を補足説明する。	●適切な態度、姿勢で授業に参加している。 (態度/点呼)
展開 1 10 分	5. キャッチボール (ノーマル、フライ、ゴロ、バウンド、ロング) 6. 組み合わせキャッチボール <組み合わせ項目> ・ノーマル ・ゴロ ・フライ ・クイック送球	◆グローブ・ボール ○送球は、相手の胸をめがけて投げることを意識させる。クイック送球では、捕球時の体勢からスムーズに移行するポイントについて指導する。 ○捕球は、フライは素早く落下地点に入り額の上でキャッチすることを、ゴロはグローブを地面に付け、膝を曲げて腰を落とすようにアドバイスし、それぞれ	●正確かつスムーズに捕球・送球している。 (技能/観察)

		意識するよう指示する。 □送球が届かない場合は、山なりで投げることを意識させ、それでも無理ならペアとの距離を近づける。 □捕球地点に入ることが難しい生徒には、構えながら動くのではなく、適切な場所に動いてから捕球動作に入ることを意識付けする。	
5 分	7. クイックピッチラリー 〈ルール〉 ・1 グループ 8 人（基準）。 ・マーカーの位置でキャッチしたら、素早くスローイングし、それをグループで繰り返す。 ・投げたら対面の列の最後尾に移動する。 ・5 m の距離でマーカーを設置し、グループ間の間隔は安全に留意して設定する。	◆マーカー □手をグローブに添えて捕球すると動作をスムーズに行いやすいことを全体指導する。 □手の操作がスムーズに行える場合は、足のステップ（半身になって送球時に足を前方に出す）を意識するように伝える。	
10 分	8. グループ分け、給水	○1 チーム 4 ～ 5 人で 8 グループに分ける。	
15 分	9. 打撃練習（ティーバッティング） 〈ルール〉 ・打者はティーに置いたボールを、ミートを意識してバッティングする。 ・守備者は捕球したボールをセット係に返球する。 ・打者まわりの安全確認や、打球時の守備者の状況等、安全に留意して活動する。	◆ティー・バット ○打者 1 人、セット係 1 人、守備 2, 3 人に役割分担し、2 分を目安に交代しながら役割を回していく。 □ボールの芯を捉えて打つイメージを持つようアドバイスする。 □半身になり、インパクトの位置はへそか、それよりも少し前を意識するように伝える。	●ボールをミートしてバッティングできている（技能/観察）
展開 2 35 分	10. 三角ティーボール 〈ルール〉	◆フープ・コーン ○4 面展開でトーナメント形式の	●安全に留意し、チームで協力し

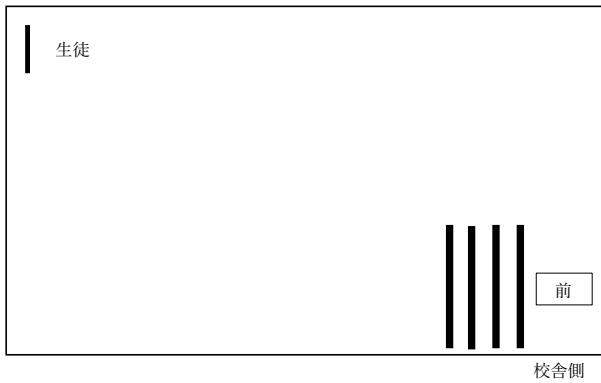
	・ 1 チーム 4 人（基準）。 ・ フェアゾーンはホームベースと 1, 3 塁のなす角（60 度程度）で設定する。 ・ 打者及び走者は、1, 3 塁を回って、ホームに帰れば得点となる。 ・ チーム 2 巡が 1 回の攻撃とし、走者はアウトにならない限り残る。走者に打順が回ってきた場合は代走と交代する。 ・ 守備側が、走者が塁に到達するよりも早く塁に送球し捕球できた場合と、フライをノーバウンドで捕球できた場合にアウトとなる。	ゲームを行う。 □アウトになるケースや得点の入り方について、指示確認する。 ○試合前に 2 分目安で作戦タイムをとり、打順や守備位置だけでなく、チームとして意識することを話し合う時間とする。 ○ベースの代わりにフープを用いて、塁のエリアを広く設定する。 ○打者 2 巡 2 イニングを目安に、時間制で行う。（1 試合 15 分目安） ○第 1 試合の結果に応じて第 2 試合の対戦組み合わせを調整し、次戦を行う。（活動環境や生徒の様子に応じて、給水や休憩を設定する）	ながらゲームへ積極的に参加している。 （態度/観察）
まとめ 10 分	11. 片づけ、集合 12. ポートフォリオ記入 振り返り 号令・解散	○怪我人、体調不良者がいないか確認する。 ◆ポートフォリオ	●技能のポイント及び授業のめあてを理解し、記述している。 （知識・思判表/ポートフォリオ） ●各々の活動について振り返り、記述している。 （思判表・態度/ポートフォリオ）

③準備物

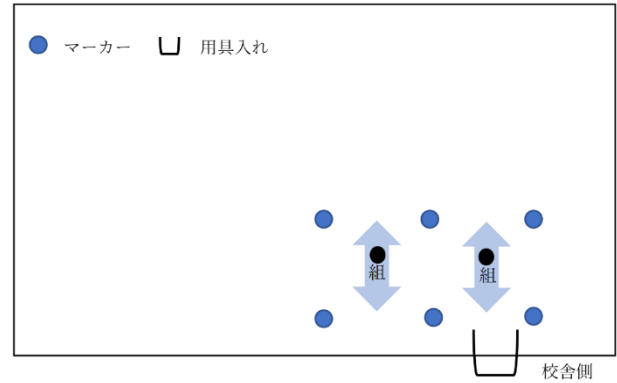
- | | |
|-------------|-----------|
| ・ ボール 20 個 | ・ バット 8 本 |
| ・ グローブ 38 個 | ・ ティー 8 個 |
| ・ マーカー | ・ コーン |

④場の設定

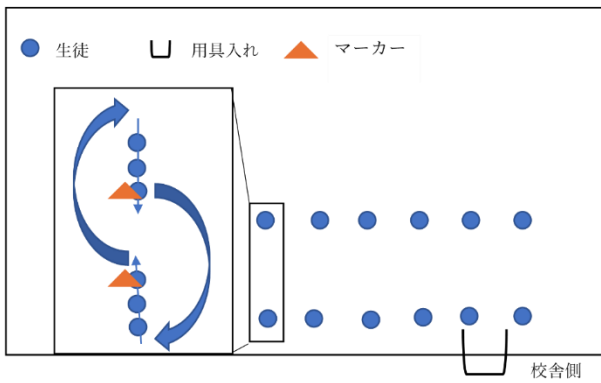
○集合



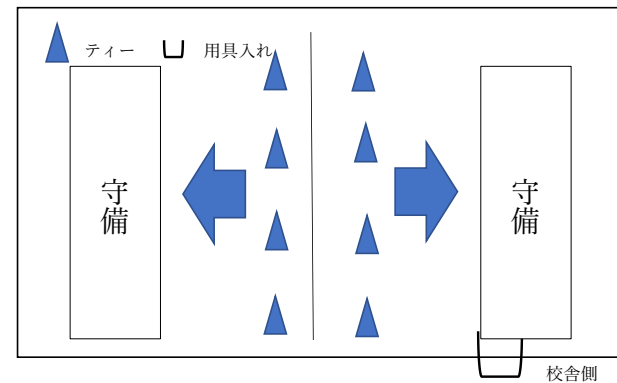
○キャッチボール



○クイックピッチラリー



○打撃練習



○三角ティーボール

